



UR が支援するジャカルタ・ドゥクアタス歩行者デッキ整備の 起工式が開催

令和8年6月21日、インドネシア共和国ジャカルタ中心部のドゥクアタス地区において、UR が支援してきた歩行者デッキの起工式が開催されました。

ドゥクアタス地区は、複数の公共交通機関が集まる重要な交通結節点である一方、川や大通りにより駅間の歩行者移動が分断され、円滑な移動に課題を抱えています。

UR は、歩行者が安全かつ円滑に移動できるデッキ整備の実現に向け、関係者の合意形成を促す検討会の組成・運営や計画立案を通じ、ジャカルタ首都特別州政府やジャカルタ都市高速鉄道公社（MRTJ）などを支援してきました。これにより検討が前進し、今回の工事着手に至りました。

式典には、日本側から UR 統括役の本位田、在インドネシア日本国大使館の明珍臨時代理大使などが出席しました。

ジャカルタ首都特別州のプラモノ知事からは、UR をはじめとした日本の支援に対する謝意が述べられました。また、同デッキにより6つの交通モードが接続され、シームレスなモビリティの実現につながることへの期待が示されました。

本プロジェクトには日本の建設コンサルタントも参画しており、当部が目指す日本企業のインフラ展開にもつながる取組となっています。

式典の様子は現地メディアにも取り上げられ、ジャカルタ中心部における交通結節点の改善や TOD の推進に対する関心の高さがうかがえました。

【参考】地元メディアによるドゥクアタス歩行者デッキ起工式の報道の一部：

METRO TV

<https://www.youtube.com/watch?v=SvUJwwiHZes>

Media Indonesia

<https://mediaindonesia.com/megapolitan/902671/groundbreaking-jembatan-di-dukuh-atas-integrasikan-enam-layanan-transportasi>

CNN Indonesia

<https://www.cnnindonesia.com/nasional/20260621105138-20-1371416/pramono-siapkan-dukuh-atas-jadi-hub-6-moda-usul-ada-city-check-in>



式典で発表されたドゥクアタス歩行者デッキイメージ
(ジャカルタ都市高速鉄道公社 (MRTJ) 提供)



ドゥクアタス地区の現況



来賓記念撮影
(左から3番目: UR 統括役の本位田)



プラモノ州知事のあいさつ (MRTJ 提供)



グラウンドブレイキング(起工)宣言の様子
左から UR 統括役の本位田、ジャカルタ首都特別州カルノ副知事、明珍在尼日本国臨時代理大使、プラモノ州知事、アラン運輸省鉄道総局長、トゥヒヤット MRTJ 社長



起工式を見物する観衆

【お問い合わせ先】

UR 都市機構 本社 海外展開支援部 事業企画課 井口 (電話) 045-650-0170

UR 都市機構 本社 海外展開支援部 事業支援第2課 巢山、小林 (電話) 045-650-0967

■UR 都市機構の海外展開支援業務について

新興国を中心とした世界の旺盛なインフラ需要を取り込むことは我が国の成長戦略の重要な柱であり、日本企業の海外展開を強力に推進するため、海外インフラ展開法（海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律）が平成30年8月31日に施行されました。

これに伴い UR 都市機構は、海外の都市開発などにおいて、都市計画マスタープランの策定支援や技術支援、海外パートナーと日本企業との調整などを通じて日本企業が参入しやすい環境の整備を進めています。

UR 都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>

—— 社会課題を、超えていく。——



UR都市機構



UR 都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

